



「欲張るための手段」

出身校 共栄中学校

北海道教育大学釧路校学校カリキュラム開発専攻 勝野皓貴

(バドミントン部)

私はこの度、北海道教育大学釧路校学校カリキュラム開発専攻への進学が決まりました。私は中学生の時から将来は教師になると決めていたので、おのずと大学は教育大学を目指すようになりました。今振り返ってみると教育大学以外にも教員免許を取得できる大学はたくさんあるのですが、当時は教師=教育大という発想で教育大学を志望しました。また、私は小学校から続いているバドミントンにも力を入れたいと思い、部活動が充実してできる江陵高校で進路実現に向け、3年間努力してきました。

私は3年間部活動に比重を大きくおいてきましたが、定期テストなどで成績を下げないよう、限られた時間を有効に使い、部活動と勉強の両立を図ってきました。合格に辿り着いた一番の要因は周りの先生方やクラスメイトの協力が人一倍あったことです。先生方には大変お世話になり、自己推薦書について親身になって最後までアドバイスをくれたり、課題図書を一緒に読んで意見をくれたり、今後の糧となるようにと、模擬授業までさせていただき本当に感謝しています。

私は部活動も教育大学入学の夢もどちらも追いかけてきて、周りの人のおかげでどちらも叶えることができました。「二兎を追う者は一兎をも得ず」ということわざがありますが、二兎を追おうとした者だけが二兎を得る権利があります。進路に対しては貪欲にいくべきだと思います。何かを叶えるために何かを妥協するのではなく、まずはどちらも叶えられる手段を探すべきです。夢に向かって様々なアプローチの仕方を摸索してください。大事なのは過程ではなく将来どうなっているかという結果です。回り道をしても夢を叶えて、好きな職に就いたり、好きなことをできる方がよっぽど幸せだと思います。

皆さんの先輩として、自分自身の経験から思ったことを伝えさせていただきました。皆さんの進路実現を応援しております。



「自分の夢」

出身校 緑南中学校

日本医療大学保健医療学部看護学科 黒田沙耶

(バレーボール部)

私はこの度、日本医療大学保健医療学部看護学科へ進学が決まりました。

看護師を目指そうと思ったのは、2年生の時にバレーボールの全道大会準決勝で、右前十字靭帯断裂という大きな怪我をしてしまい、手術と入院生活を経験したことがきっかけでした。怪我をしてしまい、バレーに対する強い思いがあるだけに悔しさと絶望感でいっぱいになりました。さらに、手術後は想像以上に痛みに苦しみました。しかし、私は顧問の先生や仲間、家族に支えられ、そして看護師さんの優しさにとても勇気付けられました。そこで、私も痛みの辛さだけではなく、人の思いをくみ取り、私以上に怪我や病気で苦しんでいる人を後押しできる看護師になりたいです。

看護師を本格的にを目指してからは、どこの学校に進学するべきかとても悩みましたが、調べていくうちに3年制高等看護学校ではなく、4年制大学で現代の高度で複雑な医療についてじっくりと学び習得したいと考えました。部活動も終盤戦まで来て、北海道予選春の高校バレー大会も控え、進路との両立はとても大変でした。ですが、先生方が面接や小論文などの練習を私の限られた時間に合わせてくださり、全面的に協力や応援をしてくれたこと、家族や友人の支えがあってこそ大学合格だと思っています。本当にありがとうございました。

これから先、どんなことが待ち受けているか、部活動で得た体力、精神力、責任感、諦めず努力する心を持ち、自分が目指している看護師になるために、乗り越えて頑張り抜いていきたいです。

後輩の皆さん、自分の中にあるどんな些細なことからも逃げず、諦めずに立ち向かってください。そして沢山悩み、考え、自分だけの夢に向かい精一杯頑張ってください。私もまた一から頑張っていきます。



「人生はわからない」

出身校 釧路幣舞中学校

大東文化大学文学部書道学科 乙部日菜

(書道部)

私はこの度、大東文化大学文学部書道学科への進学が決まりました。私が書道を始めたきっかけは、高校に入学した際に行われた新入生歓迎会で、先輩方が披露した書道パフォーマンスを見たことでした。実際に生で見ることは初めてで、迫力のあるその光景に感動で目が離せなかったことをはっきり覚えています。私はすぐに入部を決め、毎日鍛成に取り組みました。

顧問の先生や先輩方からのお力添えもあり、一年次での高文連十勝地区予選大会で、全道大会に出場することができました。書道を始めたばかりの私が結果を出せたことは、大きな自信とやりがいにつながっていました。次の目標に向かって進む勇気を与えてもらえたような気持ちになりました。その目標というのは、翌年の高文連全国大会への出場でした。作品制作にも力が入り、試行錯誤し、努力を重ねました。高文連以外にもいくつかの展覧会に出品し、良い結果が出れば自信につながり、満足のいかない結果であれば自らを奮い立たせ技術向上を図り、目標に向かって走り続けました。その努力が実を結び、私は全国大会出場の切符を

手にすることができました。発表を聞いた瞬間は、湧き上がる喜びや達成感に、涙が止まりませんでした。

全国大会は広島県で行われました。今思えば、ここが転機だったのだと思います。全国各地から集まった作品を鑑賞し、出場者の方と交流して、自分が本当にしたいこと・目指したい場所が、書道の道であると実感しました。「もっと広く深く、書の知識、技術を学びたい。」そこで、大東文化大学への受験を決意しました。

3年前までは全く関わりのなかった世界に飛び込む勇気を与えてくださったのは、先生方や、部活動の仲間、家族、友人でした。もちろん自分自信も努力をしなければ、結果はついてはきません。後輩のみなさんに伝えたいことは、人生は何があるかわからないということです。新しい道に興味を持った時、踏み出すのが怖ければ、誰かに背中を押してもらい、まずは一歩踏み出してみるのも悪くないと思います。そして、どの道を選んでも、応援してくれる人や見守ってくれる人へ、感謝を忘れずに頑張ってください。



「人の力」

出身校 本別中学校

帯広高等看護学院 田 口 祐 也

(福祉部)

11月4日、その日私は今までにないほどの緊張感に襲われていました。それは、その日に帯広高等看護学院の合格発表があったからです。

私は中学生の頃から看護師になりたいという強い思いがありました。そんな中、江陵高校福祉科の存在を知り、看護と共通点が多くある江陵高校の福祉科へ入学を決めました。福祉科の勉強は科目数が多く、また高齢者施設等への実習が58日間もあるということで、3年間正直楽ではありませんでした。しかしながら、介護実習などの経験が、中学校からの夢である看護師になりたいという思いを強くしてくれたと思っています。

一方で、3年生になりいざ進路決定という時期に差し掛かっても明確な志望校もなく進路先の選択に悩んでいると、帯広高等看護学院のパンフレットが目に入りました。その時、直感的にこの学校に行きたいと思いました。しかしながら、よくよく調べてみると志望校の壁は予想以上に高く、帯広高等看護学院を選択することは自分にとって賭けでした。それは、学校の推薦条件は満たしているものの、合格する可能性は極めて低いと言われたからです。私は必死で勉強しましたが、途中で何度も挫けそうになりました。そんな時に、私のために時間を割いてくださる先生方や応援し支えてくれる友達の存在がありました。その周りの方々の行動が何よりも心の支えとなりました。私が志望校に合格できたのは周りの人々の力があったからだと思います。本当に周りの人には感謝してもしきれない思いです。支えて下さった皆さんありがとうございました。この経験を活かし、今度は自分が人を支えられるような人になれるよう全力を尽くしていきたいと思っています。

このような経験を踏まえ後輩の皆さんに言えることは、努力をせずに後悔することは多々あります。しかしながら、努力をして後悔することはありません。何事も逃げ出さず、最後までやり遂げる勇気を持ってください。陰ながら皆さんのこと応援しております。



「花咲くために」

出身校 札内東中学校

六花亭製菓株式会社 千葉彩茄

(テニス部)

私はこの度、六花亭製菓株式会社から内定をいただきました。私が六花亭を受けようとしたのは3年生の夏休み頃でした。それまでは自分のやりたいことを見つけるのをやめました。まず、自分の好きなことはなんだろうと考えました。私は食べることが好きなので、食べ物をつくる仕事をしたいと思いました。いろいろな会社を調べ、その中でも六花亭に興味を持ちました。そして夏休みに六花亭のアルバイトで、実際に仕事を体験させていただきました。仕事は大変でしたが、食べ物に関わる仕事は楽しいと改めて思いました。会社説明会にも参加し、そこで社員一人ひとりを大切にしているとお聞きしました。六花亭は私にとってやりがいのある仕事ができると感じたので、入社試験を受けることを決めました。

六花亭の入社試験はクレペリン検査が重要だと先生にお聞きしたので、なんども練習を積み重ねました。また、先生にどのような形はいいのか聞いて、それに近づけるように努力しました。クレペリン検査のほかに面接もありましたが、私は話すことが苦手なのでとても不安でした。面接練習では自分の考えをなかなか口にすることできず、黙ってしまうこともあり、多くの時間を練習に当ててきました。入社試験では集団面接なので、練習の段階から集団面接を行いました。他の人がしっかりと答えられている中で私だけ答えられなくなることが多く、心が折れそうになりました。ですが、夜遅くまで指導を続けていただき、アドバイスをくれた先生方や、応援してくれた友人のおかげでなんとか合格することができました。本当に感謝しています。

これからは一人暮らしなど初めてのことばかりに戸惑うことが多いと思いますが、何事にも諦めず取り組んでいきたいです。少しでも早く仕事を覚え、周りの方々に迷惑をかけないように頑張りたいです。今までは親に頼りきりでいたことを自分でやらなければならなくなるので大変だと思いますが、立派な社会人になれるように精一杯頑張ります。



「Efforts will not disappoint」(努力は裏切らない) 出身校 大空中学校

中札内村農業協同組合 平井誠志

(野球部)

私はこの度、中札内村農業協同組合から内定をいただくことができました。3年生になるまで毎日部活のことばかりを考え、進路のことは後回しにしていました。就職活動を本格的に始めたのは、部活を引退してからです。今まで就職するということを考えても、自分のやりたい職業がなかなか見つからずにいました。できれば私は人のために貢献できる職業に就きたいと思うようになりました。求人票を見ていくと、中札内農業協同組合という農家の方々のサポートをする仕事に興味を持ち、受験をすることに決めました。

試験に向けて勉強を一からやり直し、面接練習も繰り返し行いました。面接練習では、初めの頃は緊張し

すぎてしまい、自分の思う通りに話すことができなかつたのですが、毎日先生方が夜遅くまで指導をして下さり、だんだん上達していくのが自分でもわかりました。試験本番当日は、難しい問題が出てきましたが、勉強の成果もあり順調に解答することができ、面接でもスムーズに答えることができました。

内定までの道程を考えてみると、自分ひとりの力ではなく、多くの方々の協力があったからこそなのだと心から思いました。今後、今まで以上に辛いことがあるかもしれません、江陵高校野球部で学んだことを糧に、日々感謝の気持ちを忘れず、周りから頼られる社会人になりたいです。

後輩の皆さん、これから先、自分の進路で悩むことがあると思います。悩んだときは、親や友人、そして先生にしっかり相談してください。必ず力になってくれます。夢を諦めず、自分の考えを強く持って頑張ってください。江陵高校卒業生として、後輩の皆さんへの頑張りを中札内から応援しています。「夢にときめけ！明日にきらめけ！江陵生！」



「後悔のないように」

出身校 南町中学校

介護老人保健施設ケアステーションアンダンテ 楠瀬晨妃

(福祉部)

私はこの度、介護老人保健施設ケアステーションアンダンテへの就職が決りました。今まで実習やボランティアなどで様々な施設へ行きましたが、自分が理想とする施設を見つけることができませんでした。自分が就職する施設なので慎重に考えるのは当たり前です。私が重視していたのは給料や勤務時間よりも、施設内の雰囲気です。一度でも行きたくないと思ってしまうと、仕事が憂鬱になってしまいます。私が選んだ仕事は人と接し生活を支える仕事です。人生で一度しかない時間を、生活をより楽しく心地よくしていただくためにはまず、自分から楽しみを見つけていかなければならないと思います。そんな私の理想の施設が3年生最後の実習で見つけることができました。それと同時に、私の中で「本当にこの施設で役に立つことができるのか」ということがとても不安に思いました。ですが、私は行動せずに後悔することは絶対にしたくないという思いから頑張ろうと決心しました。

進路の決定までに私一人だけではなく、両親を始め、先生方にも支えていただきました。先生には施設の情報などを教えていただいたり、夜遅くまで面接練習をして下さいました。そして両親には高校入学から沢山支えてもらいました。当たり前のように毎日学校まで送り迎えをしてくれたり、私が悩んで辛かったときも、寄り添って支えてくれました。私は多くの人に支えてもらい、充実した高校3年間を過ごし、自分が笑顔で自慢のできる人生への道を選択することができました。

私の今後の抱負は、多くの人に支えられていることを決して忘れず、私も人々を支えられるよう、全力で、そして絶対に後悔のない人生になるよう、遠回りや回り道をしながらも、私自身の理想の介護福祉士になれるように一歩ずつ前へ進んでいきます。

後輩の皆さん、まだ進路が決まっていない人も多いと思います。進路決定までには多くの葛藤がありますが、支えてくれる親や先生、そして友人がいます。自分一人ではないことを忘れず、後悔のない進路選択をおこなってください。



「私を支えてくれた方々への感謝」

出身校 帯広第一中学校

株式会社エルバ北海道 安 藤 啓 二

(野球部)

私はこの度、株式会社エルバ北海道から内定をいただくことができました。

私は部活動を引退しても就職先を決めることができず悩んでいました。私はどうしても帯広で働きたいと思っていました。それは生まれ育ったこの帯広で色々と支えて下さった方々のために役に立ちたいという想いがあったからです。高校3年間は毎日部活動のことばかり考えていたので、自分自身がどのような職業に就きたいか、なにがしたいのかなど、将来を想像することができませんでした。まずは学校に届いた求人票を見ることにしました。すると自動車の解体をするという仕事内容の求人を見つけ、実際にそこで働いている先輩に話を聞き、会社見学に行くことにしました。会社見学では、社員の方々がひとつひとつの解体作業を丁寧にかつスピーディーに行う姿を見てとても魅力を感じ、この会社で自分も働きたいと思い、履歴書書きや面接練習に取り組んでいきました。クラスメイトや先生が履歴書指導、面接練習などを熱心にサポートしてくれました。

就職試験当日になり、試験会場に近づくにつれ、緊張からとても不安な気持ちになりましたが、今までやつてきた練習を思い出し、自信を持って試験を受けることができ、内定もいただくことができました。お忙しい中、私のために時間を割いて面接練習を行っていただいた先生方や、野球を通して人間教育をしてくださった監督や、部長にはとても感謝しています。本当にありがとうございました。これからも失敗を恐れずに何事にもチャレンジしていき、苦労することもあるかもしれません、今まで培ってきたことを力にしてより一層努力していきます。

最後に、後輩の皆さん。まず普段の勉強をしっかりと頑張ってください。勉強をすることによって将来の選択肢は大きく広がっていきます。3年生になる前から準備を行い、自分がなりたいものは何なのか、それに向けて何をしていかなければならないのかをしっかりと考えてください。先生方や友人、両親など普段から支えてくださっている人へ感謝の気持ちを忘れず頑張ってください。応援しています。

諦めなければ道は拓けてくる

江陵高等学校 進路指導部長 若狭 隆志



リーマンショックが起きた後の2009年は、有効求人倍率が0.47だったのが、2016年4月の段階で1.34という値。数字だけみると、1980年代後半のバブル経済といわれた好景気の時とほぼ同等の値である。それだけに今は好景気のはずだが、全くそうとは感じられない。むしろ、バブル時期と比べても少子高齢化が進んでいることで、現役世代の人数がどんどん減っていることが、人手不足をもたらし、求人倍率が高くなっているのが原因の一つではないかと分析する。この状況は十勝管内（帯広地区）でも例外ではなく、新たな問題として対策を講じていかないといけないと考えている。

さて、今年度の卒業生は、例年と比べて生徒数が多く、進路戦線は苦戦を強いられるかと思っていたが、

進路実現への意欲が全体的に高く、卒業式を待たずして概ね進路が決定し、まずはホッとしている。特に、難関ともいえる「国公立大学」「看護系学校」「公務員」へ挑戦する生徒が多く、見事成就した生徒が多かったことは、日頃の努力が報われ、自分のことのように喜びを分かち合うことができ、本当に嬉しかった。

また、こういう生徒もいた。希望する職種にこだわり、極めて求人が少なく、競争相手が多い中で就職戦線に挑戦する生徒だった。何社も就職試験を受けたが、内定には至らなかった。その後毎日進路指導室にきて求人票を確認するが、なかなか理想のものがなく、イライラする日が続いた。時には本人に進路変更するよう促したが、何を言っても自分の目指す道を踏み外そうとはしなかった。やがて理想とする求人が現れ、チャレンジすることになる。この生徒は、受験日が決まってから人生で最も努力を重ね、試験に備えた。その結果今でも忘れないが、本人に内定を伝えた時の喜びの表情は今でも覚えている。決して「諦めなければ、道が拓けてくる」ということを、この生徒が実践し、私に教えてくれた。この経験を今後の進路指導に活かしていきたいと素直に思った瞬間だった。

最後に、今度は残された在校生が限りある期間の中で進路を決めていかなければならない。もちろん自らが切り拓くことになる。これから卒業していく3年生を手本として積極的に取り組み、早期にしっかりととした準備と予定をたて、願いを叶えよう。

過去2カ年における進路決定状況

<同時期における就職決定状況> H27・H28ともに2.22現在

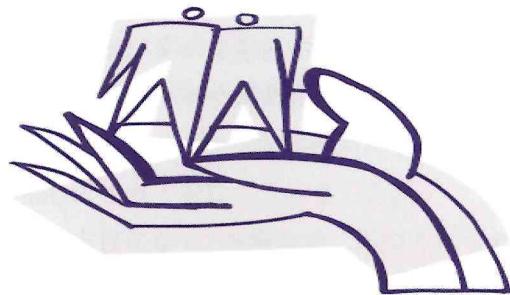
		希望者	就職先				未決定	決定率
H	2		福祉施設	一般企業	公務員	その他		
H	福祉科	8	7	1	0	0	0	100.0%
2	普通科	53	1	46	6	0	0	100.0%
7	全 体	61	8	47	6	0	0	100.0%
H	福祉科	18	12	4	2	0	0	100.0%
2	普通科	54	0	41	8	4	1	98.1%
8	全 体	72	12	45	10	4	1	98.6%

<同時期における進学決定状況> H27・H28ともに2.22現在

		希望者	四 大	短 大	専 修	看 護	未決定	全 体
H 27	H 28		福祉科	普通科	全 体	福祉科	普通科	全 体
		6	4	1	1	0	0	100.0%
		42	9	4	26	1	2	95.2%
		48	13	5	27	1	2	95.8%
		11	3	2	2	3	1	90.9%
		55	21	6	25	2	1	98.2%
		66	24	8	27	5	2	97.0%

介護福祉士になるために。

普通高校を卒業した場合、介護福祉士になるためには、さらに専門学校等へ進学し最低2年課程を修了、または施設に勤務し3年間の勤務実績と養成施設での6ヶ月過程を経て、国家試験の受験資格が与えられます。しかし、本校では高校卒業と同時に国家試験受験資格が取得できます。



江陵高等学校 福祉科



福祉クラブ演舞



介護実習



介護実習 (カンファレンス)



江陵高等学校

〒089-0571 北海道中川郡幕別町依田101の1
TEL 0155-56-5106 FAX 0155-56-5107 HP www1.odn.ne.jp/~aak76780